

木のペンダント

プログラムの概要・ねらい

自然の素材を使ってペンダントを作る。ノコギリや電動工具の使い方を覚え、自分だけのオリジナル作品を作ることで、創意工夫する楽しさを体験する。

※学校は、ノコギリを使って間伐材(丸太)または丸木材を切る作業あり

場所	団体：クラフト室 家族：サービスセンター前	4 質の高い教育をみんなに	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
時間	1時間～1時間30分	11 住み続けられるまちづくりを	15 陸の豊かさも守ろう
値段	料金表参照		
季節	年間		
人数	クラフト室 席数48		
準備物	【利用者】活動に適した服装、救急用品 学校・団体：ぞうきん、新聞紙、ポスカ 【自然の家】材料（間伐材または丸木材、ひも）、ヤスリまたはマジカルサンダー、焼き印 学校：ノコギリ、ボール盤、ドリル刃(4.5mm)、万力、ベルトサンダー		

①準備

学校・団体：材料とクラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。
 窓を開け、部屋の換気を十分に行う。新聞紙を机の上に敷く。
 家族：材料をサービスセンター受付にて購入し、備品を借りる。新聞紙を机に敷く。

②実施の流れ（学校）

【時間】

- 0:00 説明
- 0:20 材料の間伐材または丸木材（直径5cm程度）を万力で固定し、ノコギリで厚さ1～2cm程度に輪切りにする。（写真①）
- 0:40 切った木の切断面をマジカルサンダーでよく磨く。（写真②）
 マジックテープが付いている面に、ヤスリを貼り付けて使用する。
 荒削り用（濃茶色）→仕上げ用（薄茶色）
- 1:00 子どもの作業状況により、早く削るためにベルトサンダーを使用する。（写真③）
 ベルトサンダーを使用する場合は必ず指導者が立ち会い、以下の点に注意をする。
 ※削る際は、機械の横に立って作業をする。
 ※袖口、ストラップ等の巻き込みに十分注意する。
 ※1台につき二人同時に作業は行わない。
- 1:10 表面が滑らかになったら、上部にボール盤でひもを通す穴（サイズφ4.5mm）を開ける。（写真④）
 ボール盤を使用する場合は必ず指導者が立ち会い、以下の点に注意をする。
 ※穴を開ける位置を確認してから、電源を入れる。
 ※袖口、ストラップ等の巻き込みに十分注意する。
- 1:20 ペンダントにポスカで絵や文字を書く。
 ※ポスカを使用する場合は、机の上に新聞紙を敷く。
 希望者は裏面に少年自然の家の焼き印を押す。（写真⑤）
 ※焼き印の取り扱いに注意し、やけどに気を付ける。
 ※焼き印は温まるまでに約15分かかるので、事前にスイッチを入れておく。
- 1:30 片付け
 終了
 ・キット（間伐材または丸木材（輪切り済）、ひも、ヤスリ）での販売も可能。
 希望する場合は、事前に相談する。

①



②



③



④



⑤



③実施の流れ（団体・家族）

【時間】 通常、団体・家族はキットでの提供。（写真①）

0:00 間伐材（輪切り済）をヤスリでよく磨く。（材料内容：写真①）
[紙ヤスリ順番]荒削り用→仕上げ用

①



0:20 ペンダントにボスカで絵や文字を書く。（写真②）
※ボスカを使用する場合は、机の上に新聞紙を敷く。

②



0:35 希望者は裏面に少年自然の家の焼き印を押す。（写真③）
※焼き印の取り扱いに注意し、やけどに気を付ける。
団体：焼き印は温まるまでに約15分かかるので、事前にスイッチを入れておく。
家族：サービスセンター受付で焼印の依頼をする。

0:50 穴にひもを通し、完成。

片付け
1:00 終了

③



団体：間伐材（丸太）または丸木材をノコギリで輪切りにする活動から希望する団体は、事前にご相談ください。実施の流れは、②実施の流れ（学校）を参照。

③後片付け

学校・団体：工具等を元へ戻し、電動工具のコンセントを抜く。
ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。※机と床の水拭きを必ず行う。
（掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照）
工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ連絡する。
クラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付へ返却する。

家族：机の上に敷いた新聞紙を木くずと一緒にゴミ箱へ捨て、机の上をきれいにする。
借りた備品をサービスセンター受付に返却する。